

甲斐市議会 決算審査特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和6年10月21日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（13名）

委員長	清水和弘君	副委員長	加藤敬徳君
	若尾彰子君		安倍健治君
	保坂康君		樋口孝之君
	谷口和男君		金丸幸司君
	滝川美幸君		小澤重則君
	松井豊君		内藤久歳君
	藤原正夫君		

欠席委員（1名）

金丸寛君

傍聴議員（5名）

議長	秋山照雄君	監査	赤澤厚君
	山本英君		依田那津希君
	山坂賢太君		

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中澤一昭	書記	藤井涼子
書記	深澤隼人		

審査内容

- 1 令和7年度予算編成に向けての要望について
- 2 その他

開会 午後 2時58分

○書記（藤井涼子君） 臨時会終了後、ご参集いただき大変お疲れさまでございます。

ただいまから決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、初めに委員長より挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、次第の2、委員長挨拶。清水委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水和弘君） 皆さん改めてこんにちは。

第2回臨時会後で大変お疲れのところ、ご苦勞さまでございます。

先に、皆様方に3常任委員会に付託いたしておりました、令和7年度の予算要望についてこれからご審議をいただきますのでよろしくお願いいたします。

以上、私の挨拶とさせていただきます。

ただいまの出席委員は13名です。

定足数に達しておりますので、これより決算審査特別委員会を開会します。

なお、金丸寛委員は欠席の連絡がありましたので報告します。

○委員長（清水和弘君） これより、次第の3の内容に入ります。

令和7年度予算編成に向けての要望については、各常任委員会に取りまとめをしていただき、タブレットに入れてあります要望書（案）のとおりであります。

なお、1ページの前文につきましては、各自確認をお願いいたします。

それでは、総務教育常任委員より順次ご報告をお願いいたします。その後、協議していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

初めに、内藤総務教育常任委員長をお願いいたします。

内藤委員長。

○総務教育常任委員長（内藤久歳君） それでは、総務教育常任委員会で取りまとめました要望事項について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

市単独学校教育支援員等配置事業について。

いじめや発達障がい、不登校児童生徒の数は年々増加しており、子供たちの健全な成長を

守る上で重大な問題となっています。本市においても、200名以上の学校に行けない・行かない子供たちがおります。

不登校は、学習のみならず、同世代との交流や運動、様々な活動の機会の損失にもつながり、将来的に社会的自立を妨げる一因となることが危惧されます。

創甲斐教育において、不登校対策に多くの予算を割き、様々な対応がなされていることは承知していますが、教員の労働環境の整備・改善も含め、教育指導員、スクールサポートカウンセラー、部活動指導員等支援スタッフの確保、また増加する不登校生徒・児童に対応するために十分な予算確保を要望いたします。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（清水和弘君） ありがとうございます。

次に、厚生環境常任副委員長をお願いします。

保坂副委員長。

○厚生環境常任副委員長（保坂 康君） それでは、厚生環境常任委員会で取りまとめました要望事項について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

甲斐市版ネウボラ推進事業について。

甲斐市版ネウボラ推進事業は、少子化対策としても重要な事業であるが、山梨県産後ケアセンター事業での宿泊型産後ケアは遠方であり、兄弟がいる家庭では調整が難しく、日帰り型産後ケアは相談事業が中心となり、利用者の要望に沿えず母親の休息の役割を担えていないのが現状です。

また、日本産婦人科学会は、妊産婦の死亡の原因の第1位は自殺であるとの調査結果も公表されております。原因は様々であります。産後鬱が深く関係しており、産後が最も休息とケアが必要な時期であるため、産後ケア事業の拡大により妊産婦の安心・安全が守られるよう予算拡大を要望いたします。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（清水和弘君） ありがとうございます。

最後に、金丸委員長。

○建設経済常任委員長（金丸幸司君） それでは、建設経済常任委員会で取りまとめました要望事項について朗読をもって報告に代えさせていただきます。

道水路の維持改修事業について。

令和6年8月7日、本市に記録的短時間大雨情報が発表され、市内各所で道路の冠水、道

路のり面の崩壊や増水による床上、床下浸水被害等が発生し、市民生活に多大な影響をもたらしました。

今後も、台風やゲリラ豪雨等による同様の被害の発生が懸念されることから、今回浸水被害があった地域をはじめ、過去の浸水被害地域の調査等を行い、被害を防ぐための整備を進める必要があります。

また、全国的に進む社会インフラの老朽化問題に対応し安心・安全な生活を守るためにも、道水路の改修は喫緊の課題となっています。このことから、大規模改修はもとより、各自治会から要望される小規模な道水路改修にも迅速に対応できるよう、大幅な予算拡大を要望いたします。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○委員長（清水和弘君） ありがとうございます。

以上で、報告が終わりました。

質疑及び意見等ありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水和弘君） ございませんか。

それでは、令和7年度予算編成に向けての要望についてお諮りいたします。要望書に記載のとおり提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水和弘君） ご異議なしと認めます。

よって、令和7年度予算編成に向けての要望については、要望書に記載のとおり決定しました。

なお、市長への要望提出については、委員長一任とさせていただきたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水和弘君） それでは、そのようにさせていただきます。

以上で、令和7年度予算編成に向けての要望について終わります。

次に（2）その他に入ります。

委員の皆さんから何かありましたらお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○委員長（清水和弘君） よろしいですか。

事務局よりありましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水和弘君） それでは、以上でその他を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして、決算審査特別委員会を閉会します。

ご苦労さまでした。

散会 午後 3時06分